

いっしょに 飯南



いいなんちよう
飯南町広報
平成22年11月19日 No.71



11月号



平成21年度
飯南町の決算状況

椎茸の菌床づくり(ドコモ島根だんだんの森)

平成21年度 町の決算状況

平成21年度の一般会計と特別会計の決算認定を9月議会に提出しました。議会では決算審査特別委員会(門委員長他5人)を設置され、12月議会定例会において報告される予定で審査が行われます。

歳入合計 86億1,986万円

普通会計(一般会計+住宅貸付会計)
(平成21年地方財政状況調査の数値)

歳入の状況

歳入全体の8割以上を依存財源が占め、昨年度と比較して13億8,055万円増加しました。主な要因は、大規模な建設事業(県民の森取得、町営住宅建設、携帯電話不感地域解消事業、頓原中学校耐震補強工事など)に伴う町債(借金)や国県支出金などが増加したことによるものです。

町債の状況

飯南町の借入残高は一般会計で114億円、特別会計で62億円、全体では176億円となっています。昨年度より5億円減少しましたが、健全な財政運営を行うためには、引き続き繰上償還を実施する必要があります。

(単位:万円)

自主財源 118,630 (13.8%)		依存財源 743,356 (86.2%)			その他 17,256
町税	53,531	使用料等	65,099	地方交付税	402,857
				国庫支出金	105,743
				県支出金	89,674
				町債	127,826

分担金及び負担金	8,308	寄付金	1,755	地方譲与税	9,061	地方消費税交付金	5,095
使用料	7,678	繰入金	11,102	利子割交付金	172	自動車取得税交付金	1,794
手数料	654	繰越金	13,999	配当割交付金	38	地方特例交付金	959
財産収入	2,042	諸収入	19,561	株式等譲渡所得割交付金	17	交通安全対策特別交付金	120

会計別決算の状況

(単位:万円)

会計名	収入済額	支出済額	差引残額
一般会計	862,578	847,473	15,105
国民健康保険事業特別会計	80,102	77,668	2,434
老人保健事業特別会計	1,258	1,240	18
介護保険サービス事業特別会計	2,574	2,531	43
簡易水道事業特別会計	30,396	30,056	340
下水道事業特別会計	52,383	51,676	707
住宅新築資金等貸付事業特別会計	40	735	△695
飯南病院事業会計	106,685	108,094	△1,409
後期高齢者医療事業特別会計	15,622	15,507	115
合計	1,151,638	1,134,980	16,658

平成21年度は子牛価格安定対策基金、全共出品対策基金及びふるさとの森管理基金を創設しました。また、まちづくり基金や減債基金などへも積み立てを行い、基金全体の残高は昨年度より5億9千万円増加しました。

基金の状況

(単位:万円)

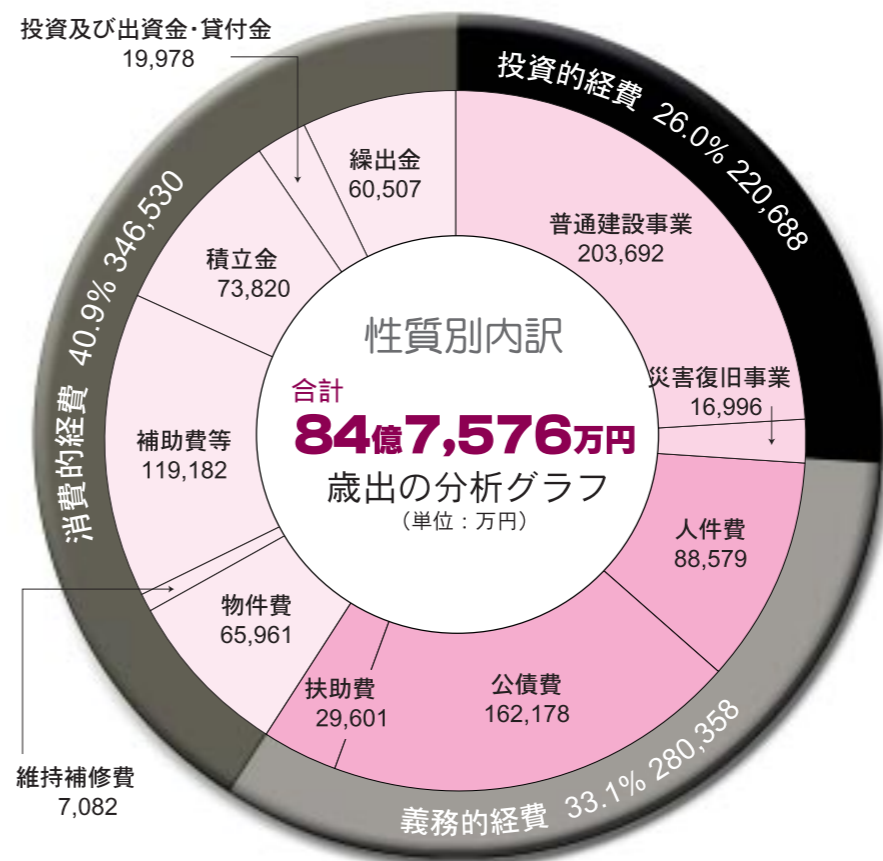
財政調整基金	51,536
減債基金	47,845
特定目的基金	105,168
まちづくり基金	1,654
ふるさと水と土保全基金	9,997
福祉基金	410
志津見ダム周辺地域整備基金	5,008
志津見ダム周辺施設管理基金	20,263
自然環境保全対策基金	124
ふるさと応援基金	1,000
子牛価格安定対策基金	300
全共出品対策基金	28,587
ふるさとの森管理基金	14,881
国民健康保険事業基金	11,609
土地開発基金	500
定額運用基金	1,246
用品調達基金	
奨学基金	

歳出合計 84億7,576万円

普通会計(一般会計+住宅貸付会計)

歳出の状況

義務的経費は昨年度と比較すると公債費や人件費の減少により2億2千万円減少しました。投資的経費は県民の森の取得や町営住宅の建設、携帯電話不感地域解消事業、頓原中学校耐震補強工事などの実施により9億8千万円増加しました。消費的経費は基金への積み立てや経済対策などに係る物件費や補助費の増加、特別会計の繰上償還に伴う出資金及び繰出金の増加により、6億2千万円増加しました。



町民1人当たりまたは1世帯当たりで見ると

平成22年4月1日現在 人口:5,643人 世帯:2,131戸

使った費用【一般会計】

1人当たり…… 150万円
1世帯当たり… 398万円

負担した税金

1人当たり…… 9万円
1世帯当たり…… 25万円

借入金残高【一般会計】

1人当たり…… 202万円
1世帯当たり… 534万円

借入金残高【全会計】

1人当たり…… 312万円
1世帯当たり… 827万円

基金残高【貯金】

1人当たり…… 53万円
1世帯当たり… 141万円



審査意見

平成21年度決算について、監査委員から次のような意見を付されました。■ 審査の期間 8月10日(火)～8月27日(金)

1 事務経費の削減

費用の削減に努力している。定期的に集約し、継続的な経費の削減に取り組むべき。

2 未収金対策

一般会計・特別会計ともに収入未済額・不納欠損額がある。過年度分の収納率が向上したが、現年分の収納率は低下している。今後も努力されたい。

3 飯南病院

外来患者が減少する傾向であるが、入院看護基準の変更や院外処方実施により収益が改善された。医師不足のなか、病院経営に努力されているが、引き続き常勤医師の確保に努め、健全な病院経営に当たられたい。

4 産業活性化

生命産業創造プロジェクト政策に取り組みました。今、産業活性化の推進に努め

5 不用額の適正化

不用額の中で、多額の不定したにもかかわらず

ク事業は、産業活性化ビジョンを策定し、国の補助金と町費により後は、これまでの事業を検証し、住民との協働で生命地域飯南町の産られたい。

用額もあり、事業執行上やむを得ないものもあるが、一部には事業確減額補正されていない。今後は、早期執行により、不用額の適正に努め

平成21年度末現在
未収額総合計 7,566万円

一般会計分	特別会計分
町税	904
災害復旧費分担金	59
老人保護措置費負担金	4
保育料	96
CATV使用料	16
住宅使用料等	753
住宅共益費	4
定住住宅利用料	18
その他雑入	1
国保会計	1,267
簡易水道会計	482
住宅資金会計	3,066
下水道会計	179
後期高齢者医療事業特別会計	9
病院会計(一部負担金)	708

第5回

頓原公民館まつり

10.17(日)



「神楽サイズ」を踊るいきいき元気教室の皆さん(志々地区)



どれだけ長くむけるかな?



保健福祉センターを会場に、第5回頓原公民館まつりが開催され、多くの人が出で賑わいました。

ステージでは各団体の日ごころの活動発表の場として、音楽教室の演奏やバンド演奏、大正琴の演奏や頓原中学校吹奏楽部による演奏などさまざまな発表が行われました。

今年はいりんこの皮むき競争が行われ、参加者が怪我をしないかハラハラする場面もありましたが、1メートルを超す大記録も生まれ、会場が盛り上がりました。

また会場周辺では地域の商店や団体有志による物産店舗が、会場内ではお茶席やフリーマーケットが並び、陶芸や短歌、手芸など各サークルの作品や、懐かしい写真などが展示され、訪れた人たちはそれぞれ芸術の秋、食欲の秋を満喫していました。

この他頓原婦人会によるバザー、スタンブラリー、新聞エコバック作りなどの体験コーナーも設けられ、一つの会場でさまざまな楽しみ方のできる公民館まつりとなったようです。

30回目の秋を記念して 来島文化祭

10.30(土)・31(日)



来島保育所児童による踊り



お客さんにダンスの指導

「郷土に生き、サークルを育て、友愛の輪を拓げよう」をテーマに、今年又来島文化祭は30回を記念して10月30日と31日の2日間、来島基幹集落センターを会場に開かれました。

30日には前夜祭が行われ、昨年の来島文化祭にも出演したダンスグループ「Quicker」DDXクイック(トリプルティール)がストリートダンスを披露し、また当日集まった人と

一緒に踊り、会場内を熱気の渦に包んでいました。

その後続いてバンクーバー冬季オリンピックポブスレー女子2人乗りの日本代表として出場した浅津このみさん中央大学が、「チャンスを掴む」と題して講演を行いました。

講演ではポブスレー競技の紹介をはじめ、自身のこれまでの生い立ちやバンクーバーオリンピックに出場した際の感動や興奮といった体験談を中心に話が進んでいき、氷のコースを高速で一気に滑るボブスレーの魅力について説明がありました。

最後に浅津さんは、年齢に関係なくチャンスを掴むということは重要なことであり、新しいことに挑戦する勇気を持つことがまず大事です」と会場に訪れた人々を激励していました。

翌31日は恒例の芸能発表・お楽しみステージや、力作展示コーナー、おもしろ広場など、さまざまなイベント内容が文化祭を盛り上げていました。

講師の浅津このみさん

豊かな森になあれ

ドコモ島根だんだんの森整備事業

10.23(土)

10月23日、角井町有林内にあるドコモ島根だんだんの森で、昨年に引き続き森林整備活動が行われました。

今回は昨年植樹したクスギ、ヤマザクラの周囲の下刈と、雑木の間伐及び間伐木を利用した椎茸菌床づくりが、NTTドコモ中国の従業員とその家族を中心にして進められていきました。

NTTドコモでは全国的に

たくましく、わきあいあいこ

ふれあいグラウンドゴルフ大会

10.28(木)

頓原のふれあいホールみせん横にあるグラウンドゴルフ練習場で、第2回飯南町ふれあいグラウンドゴルフ大会が開催されました。

この大会は、スポーツを通して体力の向上と住民同士の親睦を図ることを目的に、飯南町体育協会や飯南町総合型スポーツクラブ準備委員会などが協力して昨年に続き開催されました。



この日は町民関係者たち合わせて約50人が参加しました。グラウンドゴルフは高度な技術がなくてもプレーに参加でき、ルールも簡単のため、子どもから高齢者までが手軽に楽しめるスポーツとして公民館や地区の交流活動などでも広く活用されています。

当日は、どの参加者もゲームに集中していました。上位入賞者
優勝・高橋文子さん(赤名)
準優勝・山科要さん(頓原・町区)
三位・藤井武子さん(赤名)

実りの秋に感謝して 飯南高原まつり

11.7(日)



除雪車の試乗体験

この日はうまい米コンテストの表彰式も行われました。今年恒行栽培の部と特別栽培の部の2部門に分かれて審査されました。コンテストの結果は次のとおりです。

- 【特別賞】 志都の里
- 【慣行栽培の部 金賞】 田村 勲さん(野宮)
- 石原 久司さん(頓原・上区)
- 藤原 治さん(寺沢)
- 上田 進一さん(八神・川東)
- 奥野 幸孝さん(上島)
- 田原 哲子さん(下赤名)
- 【特別栽培の部 金賞】 とんばら門営農組合
- 志都の里
- 三上 忠さん(小田)
- 晴雲
- 万場営農組合
- 眞栄グループ



特別賞を受賞した志都の里



地方教育行政功労者表彰

(文部科学大臣表彰)

11月4日、地方教育行政功労者表彰の伝達式を行いました。

受賞者

三嶋 玉亀さん (角井)

多年教育委員として町行政に携わった功績が認められ、今回の表彰となりました。



受賞者を囲んで記念撮影

平成22年度 町功労者表彰

11月3日、町功労者表彰を行いました。受賞された方は、次のとおりです。

教育功労表彰

栃木 禮子さん(野萱)

多年、学校歯科医として児童の健康管理と口腔衛生指導に努め、学校歯科保健の推進・向上に寄与されました。

(当日は安部朋次さん(野萱)が代理で受賞されました)

女性の地域活動功労表彰

鳥屋ヶ原 美子さん(頼原町区) 多年、頼原婦人会長として婦人会活動の推進に努め、女性の地位の向上と社会参加の推進に寄与されました。



奈良県から訪れた「けはや甚句会」のみなさん

めんがみ山収穫祭開催

上赤名自治振興協議会

上赤名自治振興協議会では(財)自治総合センターから一般コミュニティ助成事業(宝くじの普及広報事業助成金)の助成を受け、活動に必要な備品の整備を行いました。

この事業は、コミュニティの健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報事業を行うものです。

この助成事業を活用することで地域住民が行っていた行事に都市市民を招くことができ、地域住民と都市



市民が共に秋の実りを味わい交流することで飯南町に生まれ育つことの誇りを次世代へ伝えることもできるようになりました。

AED救急法講習会開催

下来島自主防災会

下来島自主防災会が10月21日、AED(自動体外式除細動器)救急法講習会で飯南消防署員を講師に招き、AEDの使用方法について、心肺蘇生法と併せて学習しました。

当日は地元住民と地区消防団の合計20名が健康増進施設 加田の湯に集まり、講習を受けました。AEDや心肺蘇生法についての参加者の関心は高く、講師との間で盛んに質疑応答が交わされていました。この講習会で参加者が自主防災により一層意識を強くしたと同時に地域の連帯感も盛り上がりました。



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。宝くじは、広く社会に役立てられています。

島根県教育功労者及び教育優良団体表彰並びに優れた教育活動表彰

11月1日、教育・学術・文化・体育その他各分野においてそれぞれ島根県の教育に貢献した方及び団体、活動等が表彰されました。受賞された方は次のとおりです。

受賞者



安原 征治さん (下赤名)

多年学校教育に従事し、初等中等教育の充実発展に寄与されました。



奥飯石神職神楽保持者会 (代表:春日智明さん)

県無形民俗文化財に指定されている神楽の保存・継承に貢献されました。

島根県立飯南高等学校

地域に根ざした教育活動を展開し、中山間地域の小規模高校の魅力化を図る取組みが評価されました。

平成23年度

自治医科大学 医学部 入学者募集



自治医科大学医学部の学生募集のお知らせです。栃木県にある自治医科大学は、全都道府県が共同で設立した医科大学で、卒業後に出身県に戻り一定期間地域の病院診療所に勤務すれば、授業料などが全額免除されるといった特徴があります。ふるさと島根の医療を守るといった気概にあふれた方の申込みをお待ちしております。

募集人数

110名(島根県から2~3名)

第1次試験日

平成23年1月24日(月)学力、25日(火)面接

試験会場

サンラボ むらくも(松江市)

試験科目

数学(数学・数学A)

理科(物理、化学、生物のうち2科目選択)

英語(英語・リーディング、ライティング)

出願期間

平成23年1月4日(火)~1月18日(火)午後5時

まで

【郵送の場合は、1月17日(月)の消印有効】

問合せ・出願先

〒690-8501

松江市殿町1番地 島根県医療政策課

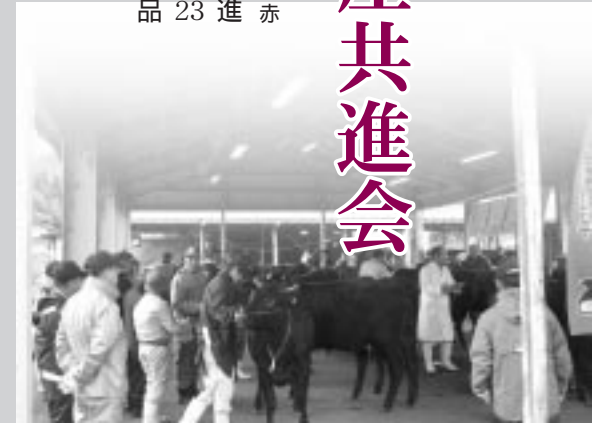
電話 0852-22-6683

FAX 0852-22-6040

飯南町

秋季畜産共進会

10月26日、畜産センター(赤名)で、飯南町秋季畜産共進会を開催し、子牛の部に23頭、若雌の部に16頭の出品がありました。



【子牛の部】

- 首席 小林幸江さん(井戸谷)の愛牛
- 次席 土江勝美さん(角井)の愛牛
- 三席 那須道弘さん(長谷)の愛牛
- 四席 加藤治義さん(下来島)の愛牛
- 五席 渡部久志さん(頼原上区)の愛牛

【若雌の部】

- 首席 貝森富雄さん(上来島)の愛牛
- 次席 片岡淳さん(八神川西)の愛牛
- 三席 武田昇さん(下赤名)の愛牛
- 四席 那須道弘さん(長谷)の愛牛
- 五席 瀧宏明さん(佐見)の愛牛



小林さんの愛牛ももさくら号



貝森さんの愛牛もくせい号

姉妹都市提携30周年記念式典 兵庫県伊丹市

頼原/さつき会館

長崎県大村市

10月16日、兵庫県伊丹市と飯南町、そして長崎県大村市の姉妹都市提携30周年記念式典が、さつき会館で行われました。

伊丹市と飯南町は旧頼原時代の昭和55年に姉妹都市の提携を結び、飯南町となった現在も友好交流が継続されています。また同年大村市も伊丹市と姉妹都市提携を結んでおり、こうした縁で伊丹市・飯南町・大村市の三市一町の間で積極的な交流活動が展開されています。

式典には三市一町から合わせて約150人の出席があり、最初に志々小学校の全校児童が歓迎の言葉を述べ、その後出席者全員により飯南町民歌が斉唱されました。

二市一町の首長からは、さまざまな交流事業によって相互の連携が強まってきていることや、今後もお互いの良さを生

かし合いながら、末永く交流を続けていきたいといった内容の挨拶をいただきました。

式典の後半には伊丹市姉妹都市協会、大村市姉妹都市親善協会、そして飯南町姉妹都市協会へそれぞれ感謝状が贈られ、二市一町の親善と友愛の絆を今後も更に深めていくことが確認されました。

また同日、伊丹市と飯南町の姉妹都市提携30周年を記念して、道の駅頼原のレストラウンやまなみに伊丹物産コーナーがオープンしました。

この物産コーナーには、伊丹名産の酒粕せんべいや甘酒、奈良漬や酒粕を練り込んだうどんなどが並んでいます。

ちなみに伊丹市でもそば処一福兵庫伊丹店とJR伊丹駅構内の観光物産コーナーに飯南町の特産品を販売するアンテナショップが開設されており、こうしたもの

交流によって両市町のつながりが更に深まっていくものと期待されます。

出席者全員による町民歌斉唱



10/16 (土)



2市1町の首長が友好の握手



永井会長へ感謝状を贈呈



志々小児童の歓迎の言葉



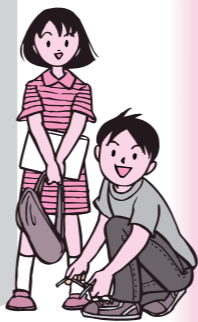
伊丹物産コーナー

いのち 彩る 生活

保健 医療 福祉のページ

思春期

思春期は誰もが通る体と心の大きな曲がり角であるといえます。本人も周囲も悩み、対応に苦慮することも多くあります。今回は、そんな思春期の子どもの向き合い方について2回シリーズで島根大学医学部の金井小児科医師にお話を伺いました。今回は1回目の「体のこと」です。



思春期の子どもがいると、うとほとんどの親は「そりや大変だわ」とこぼれまわります。顔をされるのが落ちでしょう。もう思春期を過ぎた子を持つ親はもう、うちは終わったから一安心、まだ年下の子の親はうちはまだまだ先のことよねと安堵する、それほどみんなが頭を抱える時期なのです。ですからこの時期には体も心も厄介なことが起きやすくなります。

まずは体の事。思春期は人間の人生のうちで2番目に体が変化する時です。1番目は生まれて1歳までに体重は3倍に身長は2倍になる時、そして思春期は再度成長のスパイクがかかります。この時期に起きやすいことの一つが起立性調節障害の症状です。朝起きにくい、なかなかだるくてしょうがない、頭

痛、腹痛を頻りに訴える、立ちくらみなど。これは身長が伸び外見は大きくなるけれども内臓や血管、神経はその成長についていけなくなり、自律神経のバランスが悪くなるためとされています。症状が強い場合は薬の手助けを借りると楽になることもあります。またこのような症状の場合貧血のことがあります。思春期は体が大きくなり、部活などで運動量が増え、女の子は生理が始まったり、ダイエットをして鉄が足りなくなる鉄欠乏性貧血を起すことがあります。

次に二次性徴が来ているかの確認が必要ですが、もう親とはお風呂に一緒に入らない時期でもあり、チェックはなかなか難しいですが、声変わりが遅い、生理が来ないなどあれば病院に相談されるといいでしょう。

お問い合わせ 飯南病院 TEL72-0221 来島診療所 TEL76-2309 保健福祉課 TEL72-1770

中山間地域の売れるものづくり

センターでは、中山間地域で産地化に取り組まれている黒大豆、赤名黒姫丸、「トウガラシ」、「パプリカ」、高級キノコ「シヨウロ」などの栽培技術を研究し、中山間地域の売れるものづくりに取り組みんでいます。

こんにちは中山間地域研究センターです

パプリカのジャム

11月6日(土)、7日(日)に出雲ドームで開催された出雲産業フェア2010に出展した際、研究紹介と農産物のPRのため、加工食品を試作して試食展示を行いました。

「赤名黒姫丸」の枝豆やパプリカで作ったジャム、テレビの情報番組で紹介されたトウガラシとパプリカで作った、辛い旨み調味料などの試食を行いました。

パプリカのジャムは地元の農産加工所に試作していただき



加工食品の試食をしました



トウガラシとパプリカの旨み調味料

したが、パプリカの風味を残しながらリンゴやパイナップルで甘さを加えた食べやすいジャムで、試食した子供やお母さん達に好評でした。

旨み調味料は番組で紹介されたレシピをもとにセンターで試行錯誤して作りました。トウガラシをホワイトリカーに漬けて辛みをとるのが特徴で、見かけほど辛くなく、ご飯にのせたり調味料として使えばおいしそう。だという意見をいただきました。

センターの試食展示は大盛況で、「パプリカ」や「トウガラシ」を使った新たな加工食品の可能性が感じられた2日間でした。

センターでは、今後、栽培技術の研究だけでなく、地元の方々と協力して、新たな加工品づくりのお手伝いできればと考えています。

短歌俳句

琴峯華俳句会

(琴引ビレッジ山荘周辺)

会員作品抄

- * 風に乗り風に吹かれて秋の蝶 石田シヅカ
- * 風吹けば萩騒立らて雪崩れけり 奥野 玉青
- * 眼下には裏の暮しや秋田打つ 垣内 良野
- * シヨパン聴く如くに月は満ちにけり 佐々木唐子
- * 秋山路枯れても立つや老し松 那須ひろし
- * 黄蝶のたばむれ遊ぶ菊アーチ 原 コウ
- * 枯松も山の賑い秋深し 張戸ユキ子
- * 山荘の庭の山茶花散り初むる 政本 進美
- * 吟行の我等共に迎へられ 森 征子
- * 琴引は神の山とし秋深し 垣内 峯雅

赤名短歌会

十一月詠草

- * 「一週間ニューヨーク遠行つて来る」気軽にメールして孫娘発つ 三島 久恵
- * 注射器に吸い取られ行く血液の濁りを帯びし赤きが衣し 本間 麗子
- * 寺と墓地教えて逝きし人なりき湖岸に咲く彼岸花見詰る 安部 教子
- * 何時までも二人元気でと敬老の旧孫のプレゼントに言葉添えてあり 貝森フミエ
- * 職員の笑顔に今日も元気でと敬老の旧孫のプレゼントに言葉添えてあり 日高美代子
- * 憧れの異国へ続く飛行機雲は雲のキャンパス青に溶けおり 星野 敦子
- * 乾びたる紫陽花ひとつ玄園の前に残して野分去りゆく 澤田久美子
- * これほどに手入れの届きし丘陵公園園舎とあり更に驚く 難波 幾子
- * 孫つれて田んぼで育った鯉すく、いおもやん魚とおおはしぎする 澤田 勝登
- * 皮算のしろみつけたり暗き森わずかの塊木犀の頃に 清原 豊明
- * 八十の坂を越えたりいつかに吾を生みたままいし母と違ひ抜く 佐々木りく子
- * 病床に寝巻着せし友は逃げり紫苑揺れ咲く九月の尽を 石田フクエ
- * 口紅が欲しと手真似の九十一われもオーケー両腕でする 源 光子
- * 強き母余命三月と言われしが二年を生きて精魂遺す 門所 詠子
- * 卒寿なる吾のいのちを言祝ぐ如く空にひろがる百日紅の花 中村三四二

自衛官募集 陸上自衛隊 高等工科学校生徒を募集します

陸上自衛隊高等工科学校生徒とは
将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持って対応できる自衛官となる者を養成するために、中学校卒業者を対象に採用する制度です。

教育及び卒業資格
高等学校の普通科と同等の教育を受け、併せて技術的な知識・能力を有する陸上自衛官として必要な各種技術の専門教育、防衛基礎教育や各種訓練を受けることとなります。また、提携する通信制高等学校に入学し、生徒課程(3年間)修了時には、高等学校の卒業資格を取得できます。身分は特別職国家公務員(生徒)で、手当(月額約9万5千円)の支給を受けながら高等学校教育等を受ける制度です。

【受付期間】
一般試験 平成22年11月1日(月)から平成23年1月7日(金)まで(締切日必着)
推薦試験 平成22年11月1日(月)から平成23年1月6日(木)まで(締切日必着)

【応募資格】
・一般試験受験者 平成23年4月1日現在、15歳以上17歳未満の男子で、中学校卒業後又は中等教育学校の前期課程修了者(平成23年3月に卒業、修了見込みの者を含む)
・推薦試験受験者 平成23年4月1日現在、15歳以上17歳未満の男子で、入校を熱望する強い意志をもち、中学校卒業後又は中等教育学校の前期課程修了者(平成23年3月に卒業等見込みの者を含む)の中から、成績優秀者等で中学校長又は中等教育学校長が高等工科学校生徒として、ふさわしいと認め、責任を持って推薦できる者

【採用試験期日及び試験場所】
一般試験 第一次試験
期日:平成23年1月22日(土) 場所:松江地方合同庁舎及び出雲・浜田・隠岐の島の各地域所在の県合同庁舎
第二次試験
期日:平成23年2月5日(土)から同月8日(火)までの間の指定する1日
場所:陸上自衛隊出雲駐屯地(出雲市松寄下町11421)
推薦試験
期日:平成23年1月15日(土)から同年1月17日(月)までの間の指定する1日
場所:陸上自衛隊高等工科学校(横須賀市御幸浜21) 陸上自衛隊武山駐屯地内)

【合格発表】
一般試験 第一次試験合格発表 平成23年2月1日(火) 二次(最終)合格発表 平成23年2月25日(金)
推薦試験 平成23年2月1日(火)
【採用時期】 平成23年4月上旬(一般・推薦試験合格者ともに共通)
【お問い合わせ先】
自衛隊島根地方協力本部出雲地域事務所(電話0853・21・0831) <http://www.mod.go.jp/pco/shimane>

住民基本台帳の閲覧状況を公表します

改正住民基本台帳法が平成18年11月に施行され、住民基本台帳の閲覧が個人情報に配慮した制度になりました。この法改正では、透明性を高めるため、閲覧者の氏名や内容を年1回公表することが定められています。飯南町の閲覧状況は、次のとおりです。

■住民基本台帳の一部(写し)閲覧状況(平成21年11月1日～平成22年10月31日)

閲覧年月日	閲覧請求者	閲覧目的	閲覧対象者および対象地域
平成21年12月14日	自衛隊島根地方協力本部	自衛官の募集に伴う広報	平成4年4月2日から平成5年4月1日までの間に生まれた者、全地域

平成22年度 男女共同参画テーマ別お届け講座

日時 平成22年12月5日(日)9時30分～12時
場所 ふれあいホール「みせん」
内容 『もっと素敵にコミュニケーション～私OK、あなたOKの関係のために』
講師:金香百合さん

いいしクリーンセンター(TEL72・9217) 年末年始の可燃・不燃ごみ収集日のお知らせ

12/19(日)第3日曜日持込ごみ受付、12/20(月)～12/24(金)通常通り、
12/25(土)～12/26(日)休業日、12/27(月)～12/28(火)通常通り、
12/29(水)～1/2(日)休業日、1/3(月)～以降通常通り

今月の表紙
今月はドコモ島根だんだんの森で行われた、椎茸の菌床づくりを撮影しました。
家庭や職場ではまず見るのではない菌床づくりを、生まれて初めて体験した参加者も多かったのではないのでしょうか。おいしい椎茸を食べられる日が待ち遠しいです。

お名前 10月届出分

お名前	親族	地区
瀧尻 忠子様(86)	行雄(都加賀)	
田部 千代栄様(82)	猪三(上赤名)	
山田 由城男様(61)	弘幸(野萱)	
和久利 弥生様(84)	厚(下米島)	
長島 佐登美様(89)	隆義(頓原敷波)	
山田 茂人様(84)	知宏(八神川西)	
安部 武久様(69)	友典(野萱)	
白石 義治様(63)	香代子(花栗)	
源 憲彰様(90)	彰弘(赤名)	
景山 キク工様(91)	武(都加賀)	
塚原 節子様(71)	隆昭(花栗)	
永田 昂様(83)	泰久(下米島)	

おこやかに 10月届出分

おこやかに	届出人	地区
田部 一(一)	浩(上米島)	
三島 紅(紅)	大典(野萱)	
藤原 杏輔(杏)	忠久(下赤名)	
熊本 翔太(翔)	祐一(頓原町区)	
渡邊 陽南(陽)	貞春(頓原町区)	

島根県看護学生修学資金 【特別資金】貸与生募集期間延長!!

広報8月号の内容から、以下の点に変更になっています。
募集人数:60名程度
期間 10月28日(木)～12月15日(水)
【お問い合わせ】
島根県医療政策課
TEL0852・22・6277
FAX0852・22・6040



食の安全・安心講演会

「食の安全」を理解し、島根のすばらしさを再発見しよう!
とき 平成22年12月11日(土) 14時～16時
ところ 雲南市木次町 チェリヴァホール 2階ホール
講師 科学ライター 松永和紀氏
・「安全で美味しい島根の県産品認証審査委員会」の委員を務める。
・月刊誌「栄養と料理」にコラム「食の安全を読みとく」を連載中
主催 島根県 雲南市 雲南市消費者問題研究協議会 問合せ・託児申込先 島根県環境生活総務課 消費生活室 0852・22・5103

放送大学4月生募集のお知らせ

放送大学では平成23年度第1学期(4月入学)の学生を募集中です。
放送大学はテレビ等の放送を利用して授業を行う通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など幅広い分野を学べます。
出願期間は平成23年2月28日必着。資料を無料で差し上げています。
お気軽に放送大学島根学習センター(TEL0852・285500)



雲南警察署からのお知らせ オウム真理教犯罪被害者等に対する給付金について

給付金の申請期限が本年12月17日に迫っています。全国で救済法の対象と考えられる被害者の方から、いまだ申請がなされていない状況にあります。
次の方が給付金の対象となります。
オウム真理教によるテロリズム等の犯罪行為により亡く

生涯現役について

全国に先駆けて高齢化が進んでいる島根県では、健康長寿日本一を目指して健康で明るく生きがいを持って生活できる社会づくり、県民との協働による生涯現役社会づくりの取組みを進めています。
このような趣旨から、75歳を過ぎても元気な高齢者の方へ、「知事から「生涯現役証」をお贈りします。奮ってご応募ください。」
お問い合わせ先:
来島保健センター 7633800

まちのスケジュール

2010 平成22年 12月

日	月	火	水	木	金	土
11/28	11/29	11/30	1 赤来中修学旅行 ～4日(沖縄)	2	3	4 お楽しみ会 (赤名・桜ヶ台保育所) * ムラサキキッズ (来公)
5 頓原中授業公開・PTA研修会 * しめ縄教室 (赤名農林会館) * かげやままきさんと つくる小さなツリー と木のオーナメント (ふるさとの森)	6 特設人権相談所開設 (保健福祉センター・ 赤名農村環境改善センター)	7 スマイルりんご (来島保健センター)	8 志々小人権・同和 教育授業公開 * 健康講演会 (憩いの郷衣掛) * 一人権擁護委員 委嘱式(赤名庁舎) * 人権啓発活動(町内)	9 行政相談 (来島基幹集落センター) * 乳児・1歳6ヶ月児 健診(保健福祉センター) * フッ素塗布 (保健福祉センター)	10 中山間地の高校教 育を考える講演会 (飯南高校)	11 お楽しみ会 (赤名・さつき保育所) * 金子みすゞいのち のうたコンサート (赤名農村環境改善センター)
12 * しおかぜ駅伝 (浜田益田間) * 志津見ダム完成式	13	14	15 赤来中1・2年保護 者面談～20日 * 軽体操 (来島基幹集落センター)	16 来島小個人懇談 ～17日	17	18 * ナイター無料開放日 (琴引スキー場)
19	20 * 自治区長連絡会 (保健福祉センター)	21 スマイルりんご (来島保健センター)	22 クリスマス会 (各保育所) * 飯南高校2学期 終業式	23 天皇誕生日	24 小中学校2学期 終業式	25
26	27	28 * 官公庁仕事納め	29	30	31	1/1

□ 教育 * 健康・保健 * 文化・体育 * その他



決められた日時を
お守りください

し尿汲取り日		頓原地域 ▲72-1401	赤来地域 ▲76-2441
汲取り地区	汲 取 り 日		
頓原 志々	7日 9日		
赤名	2日 4日 18日 20日		
来島	13日 14日		

資源物	
収集地域	収集日
頓原	15日(水)
赤来	22日(水)

収集地区	金属類・粗大物		ガラス類	
	収集日	収集日	収集日	収集日
頓原連坦地	20日(月)	6日(月)		
八神連坦地	22日(水)	8日(水)		
志々・頓原の連坦地以外	21日(火)	7日(火)		
赤名連坦地	13日(月)	1日(水)		
来島連坦地	15日(水)	3日(金)		
赤名・来島の連坦地以外	14日(火)	2日(木)		

いいしクリーンセンター TEL72-9217